

日墨グローバルパートナーシップ研修計画

研修レポート 2017年6月

井山明日香

日本は梅雨がそろそろあけて初夏になる頃でしょうか。メキシコシティは雨季に突入していてほとんど毎日激しい夕立があります。

6月末に10ヶ月間のCEPE(語学学校)での生活終わりました。はじめは先生が何を言っているかもわからずしんどいこともありましたが、たくさんの友人や先生に支えられて楽しく10ヶ月を過ごすことができました。

CEPEでは様々な国の人と友だちになりました。韓国や中国、アメリカ、ポルトガル、ハイチ、フランス、ギニア、シンガポール、ギリシャなどの国の出身の人がいていろいろな文化を知ることができました。

また、わたしはダンスの授業をたくさん受講しました。運動不足解消のためもありますが、伝統舞踊やメレンゲといったいろんなダンスを通じてスペイン語の授業とは違った観点からメキシコの文化を知ることができました。

今後の日墨研修生へのアドバイスになりますが、CEPEだけではスペイン語を実に使う時間は非常に少ないかなとわたしは思います。もちろん毎日3時間の授業はありますが、その間はほとんどスペイン語学習者間での会話になります。CEPE以外でそれぞれの趣味や専攻分野など何かしらの媒体を通じてネイティブと会話する時間をたくさんつくるのが大事になると思います。

CEPEの利点、ネイティブと話すことの利点をうまく利用して思いっきりスペイン語学習に熱中してください。

6月26日にConacyt(わたしたち奨学生を管理している政府機関)にて、日墨研修計画の修了式がありました。

昨年の8月下旬、メキシコに到着して3日後あたりに到着のセレモニーがありましたが、そのころはほとんどの研修生が十分にスペイン語で自己紹介すらできない状態でした。しかし最後には私を含め全員がスペイン語でこの1年間で感じたことを言えるほど言語能力が向上しました。

式の後にはちょっとした会食がありました。メキシコに到着したばかりの頃少し不思議

議な味だとか辛いなと思っていた 10 ヶ月間の成長？のおかげでメキシコ料理がとても美味しく感じられました。



今思い返してみると本当にあっという間の 10 ヶ月間でした。これから帰国日までの約 1 ヶ月間は夏休みになります。この 1 ヶ月ではメキシコのまだ訪れていない街を旅行しようかなと思います。